



あなたがもう一度、
会いたい人は誰ですか？

「ツナグ」

「ツナグ」という特殊な能力を持つ男子高校生とその祖母。依頼人は、母親に土地の権利書のありかを聞きたいという中小企業経営者の男、自分が親友を死に追いやってしまったと思っている女子高校生、結婚を約束した女性がある日突然失踪

してしまったという男性。そして何よりも「ツナグ」の能力を持つ高校生もまた、不可解な両親の死にふっ切れない複雑な思いを持っている。死者と再会して、内にあるさまざまな思いを相手に伝えたいという人々を描き、本当に大切なものは何かを問うファンタジー。ミステリーじみた要素や、嫉妬やねたみという人間の醜さ、おとぎ話のような超能力などに引きずり込んでいきます。

原作は辻村深月の同名の吉川英治文学新人賞を受賞したベストセラー小説。出演は、超能力の高校生に松坂桃李、祖母に樹木希林。

「16」ビジネスファブ「えい」が

あなたがもう一度あいたい死者は

「亡くなった人で、あなたがもう一度会いたい人は誰ですか。私がおわせてあげますよ」。死者と会わせてくれる案内人、それが「ツナグ」です。ルールは三つ。①依頼人が死んでも生者に会えるのは一度だけ、②しかも生者に会えるのは一度だけ、③会えるのは月の出る夜、夜明けまでの時間。

「ツナグ」という特殊な能力を持つ男子高校生とその祖母。依頼人は、母親に土地の権利書のありかを聞きたいという中小企業経営者の男、自分が親友を死に追いやってしまったと思っている女子高校生、結婚を約束した女性がある日突然失踪



「住民のほうは見ザル、住民の声は聞かザル、何もいわザル」の「3ザル条例はいりません」住民宣伝ビラ

「維新の会」が議員提案

「政治活動制限条例」

憲法19条(思想・良心の自由) 21条(表現の自由)に違反

「労使関係制限条例」

憲法28条(労働基本権)に違反



11月9日淀屋橋での宣伝行動

府民の要求を伝えられない

憲法違反 廃案しかない!

トップダウンの強化、「物言わぬ公務員づくり」が狙い

「政治活動制限条例」は、府職員の政治活動を国家公務員と同じ範囲に制限するもの。「原発ゼロ」や「消費税増税やめて」などの府民要求や、府の施策に意見を言うことも制限するものです。「労使関係制限条例」は管理運

営事項については、労使間の意見交換すら禁じるもの。現場の意見が伝わらず、業務や職場運営に影響します。狙いはさらなるトップダウンの強化。そのために職員を「知事の下僕」にしようというのです。

「政治活動の自由」が世界標準 松井知事も「規制は不要」と答弁

公務員の政治活動については、欧米では規制なし。「政治活動の自由の保障」が世界標準です。しかも、松井知事は9月議会で「条例による政治活動の規制は必要ない」と、答弁しているのです。

条例の危険な内容 早く広く府民に知らせよう

府議会の会期は12月14日までですが、維新の会は今月中にも府議会で質疑し成立させようとしています。全会議員への要請行動、府民宣伝を展開し、大阪モデルを全国に広げると公言する維新の会の狙いを阻止するためにも、すべての単組が行動しましょう。

月あきらめないで！みんなと一緒に！♪



「スタンダップ」はシンガーソングライターのかわさきゆたかさんが作曲した「思想調査アンケート裁判」の応援歌です。

「思想調査アンケート」裁判原告55人の決意 **スタンダップ** No.2 川崎 洋子さん

私は36年間保育士として働いてきました。今年2月アンケートが実施された時には、連合組合員ばかりの職場で、市労組は私一人だけでした。「すごいアンケートやなー」「答えたくないなー」と連合組合員も口では言っていたが、「処分」という言葉には抵抗できず、肅々と書いていました。高校生や大学生の子どもを抱えて、今仕事を辞められないと…。私自身も悩みました。「処分」とはどんなことをされるのか？懲戒処分になったら、退職金は？家のローンは？田舎の母の面倒は？等等頭をよぎって、夜中に目覚めて悶々と考える日

々が続きました。組合の学習会に行き、そこで「書かないし出さない」と決めて、翌日所長に「私は出しません！」と言ったけど、アンケート回収袋を見て、また不安になりました。

「裁判で闘う」と聞いた時には不安な気持ちも少しあったけど、「よっしゃー！これで言いたいことが言える」と勇気が湧いてきました。裁判に勝つための行動は何でもやるぞ！できるぞ！と目の前の霧がいつか晴れた気がしました。どうせなら明るく元気にと、応援歌を主人と一緒に作ったり、劇団の協力を得て「コント」作りにも取り組みました。人前に立つとドキドキですが、いろんな人たちと知り合いになれて人間磨きができる貴重な体験をさせてもらっています。皆さんに感謝でいっぱいです。

人々にはいつでも私が現役復帰をしてプレーできると思わせていたい
マイケル・ジョーダン

「バスケットボールの神」と称されたジョーダンは大の負けず嫌いとしても有名でした。殿堂入りの記者会見で彼は「殿堂入りは名誉だが、選手として完全に終わりでないと宣告されたようなもので嬉しくない」と語ったあと、こう発言しました。引退してもなお衰えない、この負けじ魂こそが彼の「神」たるゆえんだったのでしょうか。

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

疑うがゆえに知り 知るがゆえに疑う

寺田 寅彦

「？」を持つことから始めよう。疑うからこそ知り、知るからこそまた疑う。目の前をを当たり前として見ていては、そこに新たな発見はない。いつもは当たり前だと思っていることも疑ってみると、そこに新しい発見が待っていることもある。そうした発見があるからこそ、また新たな疑いが生まれる。こうした疑いを見つける過程で知性は磨かれていくものだ。疑うことは学ぶうえで大切な姿勢なのだ。(「知と疑い」より)